

高速バス【福岡～熊本線】「バスきたくまさん」&「Google マップ」とのリアルタイム連携を開始

～高速バス停へのデジタルサイネージ設置で、運行状況の“見える化”を実現。
定時性・快適性を高め、ビジネスや観光の移動をさらにスマートに～

九州産交バス株式会社（本社：熊本市西区上代、社長：岩崎司晃）は、福岡と熊本を結ぶ高速バス「ひのくに号」において、利便性を大幅に向上させる新たなデジタル施策を導入いたします。

具体的には、熊本県の路線バスでサービスを提供しているバスロケーションシステム「バスきたくまさん」への対応（運行会社およびリアルタイム位置情報の提供）、一部高速バス停へのデジタルサイネージ設置、および「Google マップ」でのリアルタイム遅延情報を反映した経路検索への対応を、2026年7月31日より順次開始いたします。これまで高速バスの課題であった道路状況による待ち時間の変動や現在の走行位置の不透明さを解消し、より信頼され、安心して選ばれる公共交通機関を目指します。

■実施内容について

【実施日】 2026年7月31日（金）～

【対象路線】 福岡～熊本線 「ひのくに号」 ※西鉄便含むただし、福岡～光の森線は除く

【実施施策】

1. 「バスきたくまさん」に対応

熊本県民に広く親しまれているバスロケーションシステム「バスきたくまさん」に対応します。運行会社情報と併せて、バスの現在地がリアルタイムでスマホやPCから一目で分かるようになります。（図1※1）

2. 一部高速バス停に「デジタルサイネージ」を設置

ご利用が多い高速バス停留所、（武蔵ヶ丘バス停と西合志バス停の福岡方面向け）に、リアルタイムの運行状況を表示するデジタルサイネージを設置します。スマートフォンをお持ちでない方や操作に不慣れな方でも、「あと何分でバスが来るか」がひと目で分かるため、どなたでも安心してバスをお待ちいただけます。

3. 「Google マップ」と連携、遅延を加味した「正確な経路検索」が実現 準備でき次第開始

世界中で利用されている「Google マップ」の経路検索に、リアルタイム運行データ（GTFS リアルタイム）が連動します。道路状況による遅延を加味した正確な到着予測時間や最適なルートが検索可能になり、お出かけやビジネスの計画がよりスムーズになります。（図2※2）

※1：画面は参考画像です（開発中のため、実際のひのくに号表示仕様とは一部異なる場合があります）。

※2：画面は先行実施路線のものです。ひのくに号でも同様にリアルタイムの遅延状況（赤字部分）が反映されます。

図1 バスきたくまさんスマホ画面

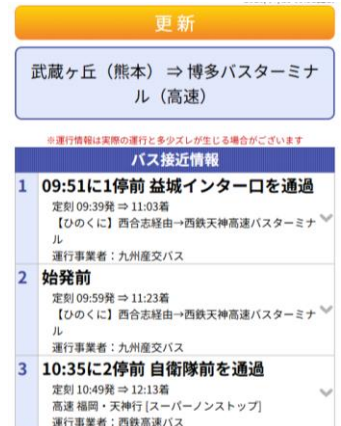


図2 Google マップ導入イメージ



■高速バス「ひのくに号」について

福岡と熊本の中心地をダイレクトに結ぶ、大変便利な高速バスです。ビジネスやショッピング、観光にぜひご利用ください。

【運行路線】 福岡～熊本線（ひのくに号）（スーパーノンストップ、植木 IC 経由、各停）

【運行便数】 1 日 82 往復（平日）／ 1 日 91 往復（土日祝）

※運行間隔：最短 5 分～30 分間隔

【主な停留所】 博多バスターミナル、西鉄天神高速バスターミナル、福岡空港

熊本桜町バスターミナル、熊本駅前他

【片道運賃】： 大人片道 2,500 円（実質最安値：2,188 円）

※実質最安値は、30 日以内に同一運賃区間をタッチ決済で 4 回ご利用いただき、4 回目の運賃が半額になった場合の 1 回あたりの実質運賃です。

【所要時間】 福岡（天神・博多）～ 熊本（桜町 BT） 約 2 時間 10 分～2 時間 30 分

（※運行系統により異なります）

このプレスリリースに関するお問い合わせ
九州産交バス株式会社 高速営業課
担当者氏名：津崎、今釜
TEL：096-325-8241